令和6年度　年間授業計画

田無工科高等学校

教科・科目	工業（機械）　応用製図			単位数	2
対象学年・組	３学年機械科	教科担任	MA：MB：井手・大塚		
教科書・副教材	なし				
	自作資料				

教科　工業　の目的：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力　】	【学びに向かう力、人間性等】
工業の各分野について体系的･系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	工業に対する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けてい。	よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目　機械応用製図　の目的：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
機械製図に関する基礎的な知識と技術を理解する。	２年間の製図の知識を活かし、自らで判断し、立体製図および３DCAD図面を描いていく。また３DCADについてはオリジナルの作品を完成させる	他の人と助け合いながら自分の知識を向上させ、やがては自身一人の力で目的を持った作品作りをおこなう

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	時数
1学期	選択受講者を２班に分け、基礎製図（共通）と等角図/３次元CAD（ローテーション）のそれぞれの内容を学習させることにより幅広い知識を習得させる。	等角図班・３次元CAD班：２班に分かれて共通で、基礎製図の立体図（等角図）から投影図、投影図から立体図（等角図）、立体図を想像しながら投影図の修正、断面図（片側断面図）、補助投影図、展開図、簡単な立体の投影図などについて学習し、製図の基本技術・技能の習得をさせる。	提出課題の得点で学習の理解度を評価する。・授業態度、プリントやノートなど提出物について、授業の取り組みを評価する1、２学期は学習内容の理解度を７割、授業の取り組みを３割で成績をつける				4
	同上	同上	同上				6
	定期考査は無し						0
	同上	同上	同上				8
	同上	同上	同上				6
	定期考査は無し。作品の提出とする						0

2学期	選択受講者を２班に分け、基礎製図（共通）と等角図/３次元CAD（ローテーション）のそれぞれの内容を学習させることにより幅広い知識を習得させる。	等角図班・３次元CAD班：２班に分かれて共通で、基礎製図の立体図（等角図）から投影図、投影図から立体図（等角図）、立体図を想像しながら投影図の修正、断面図（片側断面図）、補助投影図、展開図、簡単な立体の投影図などについて学習し、製図の基本技術・技能の習得をさせる。	提出課題の得点で学習の理解度を評価する。・授業態度、プリントやノートなど提出物について、授業の取り組みを評価する1、２学期は学習内容の理解度を７割、授業の取り組みを３割で成績をつける					8
	ローテーションの切り替わり 内容は同じ	同上	同上					8
	定期考査は無し							0
	同上	同上	同上					8
	同上	同上	同上					6
	定期考査は無し。作品の提出とする							0
3学期	選択受講者を２班に分け、基礎製図（共通）と等角図/３次元CAD（ローテーション）のそれぞれの内容を学習させることにより幅広い知識を習得させる。	等角図班・３次元CAD班：２班に分かれて共通で、基礎製図の立体図（等角図）から投影図、投影図から立体図（等角図）、立体図を想像しながら投影図の修正、断面図（片側断面図）、補助投影図、展開図、簡単な立体の投影図などについて学習し、製図の基本技術・技能の習得をさせる。	提出課題の得点で学習の理解度を評価する。・授業態度、プリントやノートなど提出物について、授業の取り組みを評価する1、２学期は学習内容の理解度を７割、授業の取り組みを３割で成績をつける。学年末は1、２学期の成績を踏まえて、総合的に					6
	定期考査は無し。作品の提出とする							0

合計 60